令和元年度　大阪府　国民健康保険事業　決算のポイント

資料１１－２

**１　単年度収入の構成は、公費（国費及び府費）が40％近く、事業費納付金（保険料等）、前期高齢者交付金（他保険者からの支援金）が約30％**

　　・公費（国庫支出金、療養給付費等交付金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金）　316,126百万円（38.28％、対前年比0.54ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・事業費納付金（保険料等）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　268,752百万円（32.54％、対前年比0.88ﾎﾟｲﾝﾄ増）

　　・前期高齢者交付金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　240,757百万円（29.15％、対前年比1.45ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　※　国庫支出金（260,807百万円）の内訳

　　　　療養給付費等負担金　173,734百万円　高額医療費負担金7,221百万円　特別高額医療費共同事業負担金564百万円　特定健康診査等負担金911百万円

　　　　普通調整交付金　　　 64,726百万円　特別調整交付金　8,817百万円　保険者努力支援制度交付金4,833百万円

**２　単年度支出の構成は、保険給付費等が約80％、後期高齢者医療への支援金が約13％、介護保険への納付金が約5％**

　　・保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業　　669,920百万円（79.99％、対前年比1.31ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　・後期高齢者支援金等　　　　　　　　　 　　112,479百万円（13.43％、対前年比0.27ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　・介護納付金　　　　　　　　　　　　　　 　43,119百万円（ 5.15％、対前年比0.16ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　単年度収支差は、▲116億82百万円の赤字、基金繰入金（44億34百万円）及び昨年度繰越金（73億76百万円）の活用、**

**基金積立金（5百万円）後の次年度繰越額は、1億22百万円**

　　・次年度への繰越額（1億22百万円）は、令和元年度末における「形式的な」資金収支差。

　　・療養給付費等負担金及び高額医療費負担金等は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び精算は翌年度（令和

2年度）に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

　　　　療養給付費等負担金**返還額 ▲78億68百万円**

退職者医療交付金　　　　　**返還額 　　　▲91百万円**

高額医療費負担金　　　　　**返還額　　　　▲31百万円**

　　　　　　**返還額合計　▲79億90百万円**

⇒　大阪府分の令和元年度の実質的な歳出規模は、8,454億81百万円（8,374億91百万円+ 79億90百万円）となり、

収支差引残は、▲78億67百万円（▲0.93％）。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和３年３月29日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

令和元年度 大阪府内43市町村総計 国民健康保険事業決算のポイント

**１　単年度収入の構成は、都道府県支出金（普通交付金含む）が約71％、保険料収入が約19％、一般会計繰入金が約10％**

　・都道府県支出金（うち普通交付金）　　　　　　　　　　　　　　　　　 669,877百万円（658,129百万円）70.55％（対前年比0.30ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　・保険料収入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　179,370百万円　18.89％（対前年比0.17ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　・一般会計繰入金　　　　　 　　　 97,451百万円　10.26％（対前年比0.18ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**２　単年度支出の構成は、保険給付費が約69％、国保事業費納付金が約29％、総務費が約1.7％**

・保険給付費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　650,049百万円　68.94％（対前年比1.00ﾎﾟｲﾝﾄ減）

　　・国保事業費納付金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 268,752百万円　28.50％（対前年比0.08ﾎﾟｲﾝﾄ増）

　　・総務費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 16,065百万円　 1.70％（対前年比0.10ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　純資産（資産‐負債）は、黒字39市町村（322億61百万円）、赤字4市町村（▲26億32百万円）**

**うち、収支差引額では、黒字39市町村（114億41百万円）、赤字4市町村（▲26億32百万円）**

**単年度収支差は、黒字32市町村（73億10百万円）、赤字11市町村（▲7億38百万円）**

**累積赤字額は、30年度　45億94百万円　→　元年度　26億32百万円へ　、19億62百万円（42.71％）の減少**

　・単年度収支差の黒字は、30年度　35億68百万円　→　元年度　73億10百万円（ +37億42百万円　104.88％増）に増嵩している。

　　・単年度収支差の赤字は、11市町村（▲7億38百万円）あるが、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字としている。

・純資産は、30年度　232億30百万円　→　元年度　296億30百万円（+64億円　27.55％増）に増嵩している。

　　※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

　　　　　　基金等保有額は、30年度　151億88百万円　→　元年度　208億20百万円（ +56億32百万円　37.08％増）

　　　　　　次年度繰越額は、30年度　126億36百万円　→　元年度　114億41百万円（▲11億95百万円　9.46％減）

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

　大阪府国民健康保険運営方針において累積赤字は解消をめざすものとしており、累積赤字縮減は保険財政健全化に資するものである。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和３年３月29日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。